

## 令和5年度第2次3月補正予算概要

## ○ 一般会計補正予算額

計上額	△136億	6,610万円
補正後累計(第1次3月補正分を含む)	8,448億	7,229万円
うち 令和6年能登半島地震への対応	91億	7,865万円
(令和6年度当初予算・令和5年度第1次3月補正を含めた累計)	7,809億	9,569万円)
うち 上記除き	△228億	4,475万円
(補正内訳)		
・ 職員費	7億	1,764万円
・ 投資的経費	△129億	4,599万円
(地震分)		2,864万円
(上記除き)	△129億	7,463万円
・ 一般行政経費	19億	4,012万円
(地震分)	91億	3,617万円
(上記除き)	△71億	9,605万円
・ 公債費	△33億	7,787万円
うち繰上償還の取り止め		△30億円
(充当財源)		
・ 実質県税	21億	5,945万円
補正後累計	2,019億	5,945万円
(主な内訳) 法人関係税	28億	2,475万円
地方消費税(清算後)	△4億	530万円
・ 実質交付税	16億	7,953万円
(内訳) 地方交付税	21億	3,553万円
臨時財政対策債	△4億	5,600万円
・ 国庫支出金	△83億	8,700万円
・ 繰入金	△40億	5,178万円
うち競馬事業収益の一般会計繰入		1,000万円
・ 県債(臨時財政対策債除く)	△46億	7,100万円
・ その他	△8億	6,534万円

## ○ 主な事業

(令和6年能登半島地震関連)

- 生活再建支援の更なる拡充
  - － 国の新たな交付金制度を活用した半壊以上の被災世帯への支援(国 4/5、県 1/5)  
7,635,396 千円  
能登6市町の、高齢者・障害者のいる世帯や、住民税非課税世帯等に対する家財等の取得や住宅再建の支援(最大300万円)
  - － 住宅再建を行う半壊以上の被災子育て世帯等への支援(県事業) 100,000 千円  
県内全域の子育て世帯や給与収入600万円以下の世帯に対する住宅融資の利子への助成(最大300万円)
- 被災地で活動する支援者の宿泊拠点の整備 1,223,100 千円  
被災した宿泊事業者の運営による仮設宿泊施設(300人分)  
(中小企業基盤整備機構10/10)
- 避難者・児童生徒等への支援 57,183 千円  
2次避難所から被災地への臨時日帰りバスの運行、  
卒業式のため集団避難先から能登地域へ向かうバスの運行、  
県外の臨床心理士等の確保によるスクールカウンセラーの増員、  
高校寄宿舍の被災による一時避難先からのスクールバスの運行、  
家計急変世帯の児童生徒等に対する学用品等の支給(市町事業、国2/3、市町1/3)、  
放課後児童クラブ利用料の減免等(市町事業、国1/3、県1/3、市町1/3)

(その他)

- 職員費(地震対応に係る時間外勤務手当の増等) 717,637 千円
- 除雪費 1,740,000 千円
- 新型コロナウイルス感染症対策費の減 △ 6,809,929 千円
- 県債の繰上償還の取り止め △ 3,000,000 千円
- 地方交付税の後年度精算に備えた地方交付税精算勘定への積立 2,135,529 千円

## ○ 一般会計繰越明許費

現計と合わせ	217,270,553 千円
うち投資的経費等	162,634,812 千円
うち一般行政経費	54,635,741 千円